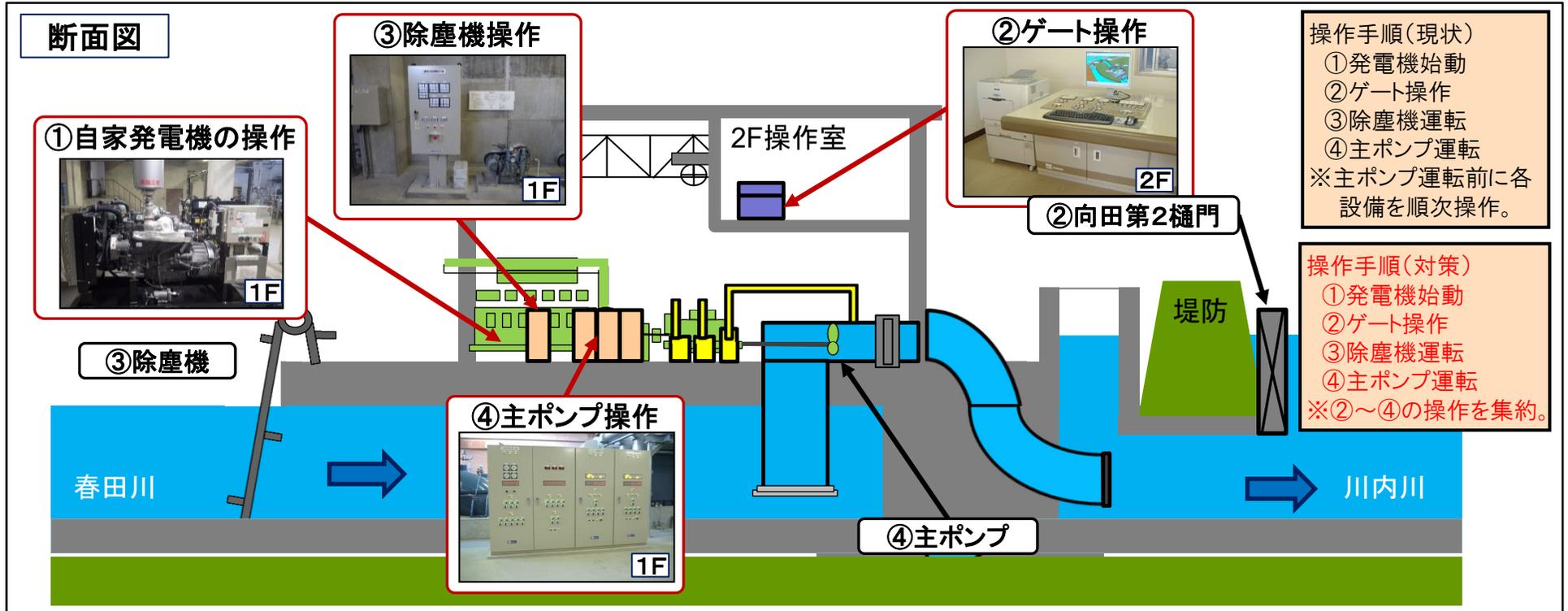


操作手順の連動・集約化

○主ポンプの運転操作一つで関連ゲートの開閉や除塵機の運転を連動化させる設備改良を行い、ポンプ始動までの所要時間も短縮する。また、2階操作室にて操作が行えるよう集約化を実施。



	設備名	自家発電機は現状どおり	経過時間(イメージ)	※関連ゲート・・・向田第2樋門、サージタンク内自然流下ゲート	備考
現状	① 自家発電機	→			
	② 関連ゲート		→		
	③ 除塵機			→	
	④ 主ポンプ				→
連動化	① 自家発電機	→			
	② 関連ゲート	連動	→		2階操作室にて操作
	③ 除塵機	連動	→		
	④ 主ポンプ	連動	→		
			←	ポンプ始動までの所要時間を短縮	

遠隔操作化

○令和5年度出水期からの遠隔操作化に向け、施設整備を実施。

① 操作員による機側操作

向田排水機場

② 遠隔操作を実施(非常時)

薩摩川内市

③ 遠隔操作を実施(非常時)

川内川河川事務所



① 原則、操作員が排水機場で操作を実施する。

② 排水機場で操作できない不測の事態になった場合、市役所で遠隔操作を実施する。

③ 市役所で操作できない場合、川内川河川事務所で遠隔操作を実施する。

